独立行政法人 国立病院機構
佐賀病院地域医療連携誌

ホスピタル

平成18年6月号
Vol.9

発行所
独立行政法人
国立病院機構 佐賀病院
佐賀県佐賀市日の出1丁目20番1号
編集発行人：山口　淳三

TEL(0952)30-7141(内線 1808)　連携室直通 FAX(0120)872-882　URL http://www.hosp.go.jp/~saga/

基本理念

赤ちゃんからお年寄りまで、患者様に優しい病院、家族に対しても思いやりのある
そして質の良い医療が提供できる病院を目指します

Contents

院長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・2
副院長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・3
第三診療部長挨拶及び産婦人科紹介・・3
各診療科紹介・・・・・・・・・・・4～5
第１回地域連携パス
　合同カンファランス・・・・・・・・・6
国立病院機構佐賀病院
　ケースカンファランスのご案内・・・7
各新任医師のご紹介・・・・・・・・・・8
健康フェアのご案内・・・・・・・・・・9
地域医療連携指数のご報告　・・・・・10

ご挨拶

院長　島　　正義

平成 18 年３月 31 日付けで井沢邦英院長が退職された後、４月１日付けで院長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、副院長在職時よりまして専心職務に精励いたす所存でございますので、何卒前院長にも増してご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当院は平成 11 年３月に出された政策医療推進基本計画に基づいた政策医療として①がんに対する医療、②新生児医療を中心とした成育医療を掲げてまいりました。今後もこれまで同様この２つを診療の柱として病院運営を図ってまいる所存ですが、この２つの分野のほかでも地域医療への貢献を念頭においた医療連携の強化をめざしていきたいと考えています。また、この５年間は医療安全、院内感染、褥瘡対策にも院内では力を注いできましたが、今後は講習会などを広く近隣の医療機関関係者にも参加していただけるようオープンにし、医療連携室を連絡窓口にしたシステムを構築してまいります。昨年９月に当院から県内近隣の医療機関に患者様を紹介する際の資料とするためのアンケートをお送りし、それを１冊の冊子にいたしましたところ院内では比較的好評ですが、未だ７０医療機関に満たないため当面 100 医療機関の掲載をめざして、近々またアンケートを送らせて頂きたいと思います。もちろんアンケートにお答えいただき、希望される医療機関にはその冊子を配布させていただいています。

また、これまでいくつかの診療科で近隣の先生方とのカンファレンスや勉強会が行われていましたが、今年２月よりケースカンファレンスと称して年 10 回開催予定で医師会の先生方、当院の全科の医師および研修医が参加して、紹介していただいたケースを中心としてテーマを掲げたカンファレンスを始めています。医界佐賀、佐賀市医師会報には毎月詳細を掲載していただいていますのでよろしくご参加のほどお願い致します。

平成 16 年度独立行政法人化されるのと同時に当院は新臨床研修制度に基づく研修指定病院として出発しました。３年目に入った今も運用面では試行錯誤の連続ですが７、８人の研修医が病院の活性化に欠かせないのも事実です。医師のみならず、看護師、薬剤師、臨床検査技師、臨床放射線技師、理学療法士、管理栄養士などの臨床実習にも協力していますので医師会の先生方には何かと御指導いただき、またご迷惑をおかけしているかと思いますが、この紙面にて御礼とお詫び申し上げますとともに今後とも当院の職員に対し御指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

ご 挨 拶

副院長　山口　淳三

このたび副院長に就任しました山口です。今後も、多くの先生方が安心でき、かつ日々の診療が楽しくできますよう、可能な限りのお手伝い・応援をさせて頂きたいと考えておりますので、これまで同様よろしくお願い申し上げます。現在我々は、平成 23 年頃の「新病院建設」をスローガンに一丸となって取り組んでいますが、そのためにも地道な努力によって足腰を鍛えなおさなければならないとつくづく感じております。何か至らぬ点がありましたら、いつでも何でもお知らせ下さい。

一方、乳がん診療についてですが、患者様にとって満足度の高い医療の提供に取り組むべく、看護師（ブレストナース４人）、薬剤師、栄養士、放射線技師、理学療法士、検査技師そして医師からなるブレストチームを結成しました。患者の会もこの５月よりスタートし、これまで以上に乳腺領域も充実させたいと考えますので、こちらも併せてよろしくお願い申し上げます。皆様と共に、患者様やその家族の方の心のよりどころとなるような病院を作っていければ、と切に願っております。

第三診療部長挨拶及び産婦人科紹介

産婦人科部長　野見山　亮

３月 31 日付けで中並正道部長が退職し、後任として４月１日付けで佐賀県立病院好生館より参りました。当院は佐賀県の周産期医療の中核を担ってきましたので、その当院で周産期医療に従事できることは喜びですし、その責務を果たすべく努力する所存です。

私は昭和 57 年に長崎大学医学部を卒業し、九州大学医学部産婦人科に入局研修の後、平成２年より前職にありました。専門は周産期医療で、特に産科超音波診断等に興味を持ってまいりました。当院での産科診療、研修医学生教育に幾らかでもお役に立てれば幸いです。

産婦人科は４月よりスタッフ５名（川越　秀洋、徳田　諭道、堀之内　崇士、山本　徒子、野見山）臨床研修医１－２名（久留米大学より２ヶ月交代でローテイト、当院臨床研修医、佐賀大学より希望者研修）体制で診療をスタートしております。堀之内が５月で退職しますので６月からはスタッフ４名体制となります。教育面では本年度より佐賀大学医学部５年次学生を３週間の臨床実習として受け入れ、今後も積極的に臨床教育に関わっていく方針です。

当院の特長としては、なんといっても NICU（新生児集中治療室）を有することで、当科の役割もハイリスク妊娠分娩を受け入れることにあります。今後とも緊急母体搬送に適切に対応させて頂くことが最優先の課題です。これに加えまして、後遺症なき児の生存を目指し子宮内環境の評価、胎児診断を充実させ、これに基づく適切な妊娠分娩管理さらには胎児治療を目指していきます。

婦人科診療におきましては、これまでと同様に低侵襲の腹腔鏡あるいは子宮鏡下手術を柱とし、一般婦人科診療の充実も図りたいと存じます。

最後になりますが、当科に取りまして地域連携は最優先課題のひとつです。日常的な連携を強化させて頂きます事とともに本年度より始まりました佐賀病院ケースカンファランス（当科の担当は１月と６月の第４月曜日午後７時から８時まで）を実践的な企画にしたいと存じます。ご参加頂けましたら幸いです。また緊急母体搬送の受け入れ等につきまして多々ご不満の点もあるかと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

各診療科紹介

内　科

地域に密着した、内科全般にわたる診療をしています。
特に慢性肝炎から肝硬変、食道静脈瘤、肝癌については、その診断から治療まで最新医療機器（超音波、ＣＴ、ＭＲＩ、内視鏡、血管造影、レーザーなど）を駆使して、高度な診療を行っています。その他、リウマチ等の膠原病、糖尿病、代謝内分泌疾患に関しても専門医・栄養士・薬剤師の協力のもとに、診断・治療・生活指導等を組織的に行っています。また内視鏡、ＣＴ検査は絶食して来院していただければ当日検査可能です。更に肝臓専門外来も行っています。平成 17 年４月より毎週月曜日に呼吸器内科外来を、又、平成 18 年５月より第４水曜日に神経内科外来を始めました。

循環器科

循環器科は、狭心症、心筋梗塞、不整脈、心不全、高血圧など心臓や血管の病気を診察する内科です。
これらの疾患を早期に発見するため、当科では、外来で心臓超音波検査、24 時間心電図、運動負荷心電図、ＲＩ検査を実施しています。また病棟では、心不全やペースメーカー移植を要する不整脈を中心に入院治療を行っています。

小児科

未熟児・新生児医療を中心とし、乳幼児（発育・発達検診を含む）から学童期までの一般小児内科の診療を行っています。常時 20 人を超える未熟児の集中管理や県内唯一の未熟児専用ドクターズカーの運用による赤ちゃんに優しい母胎搬送の推進など周産期医療の向上に寄与しています。
アレルギー疾患外来、特殊疾患外来も行っています。（詳細は特殊専門外来一覧をご参照ください。）

外　科

食道、胃、大腸、肝臓、膵臓、胆道などの消化器癌及び甲状腺癌、乳癌などの早期診断と手術を中心にした先駆的治療、さらには患者さんと家族にとって信頼されるチーム医療を目指しています。
また、早期胃癌、大腸癌、胆石症などには、内視鏡下や腹腔鏡下手術（開腹なし）など侵襲の少ない方法も行っています。

整形外科

新生児から高齢者まで各年齢層にわたり整形外科全般にわたり診療しています。特に、高齢者の膝関節に対する骨切り術、人工関節置換術や、若年者のスポーツ外傷やスポーツ障害（関節鏡視下手術）、腰部椎間板ヘルニアなどの脊椎・脊髄疾患、などに積極的に取り組んでいます。

形成外科

口唇裂や多指症、副耳などの先天異常、皮膚及び軟部腫瘍、顔面や手指の外傷、難治性潰瘍、やけど（熱傷）、眼瞼下垂、陥入爪などの疾患を診療しています。
また外傷や手術後の目立った瘢痕やひきつれ（拘縮）の修正、乳房再建術を含めた組織欠損の再建など、外見的な後遺症にも注意を払って治療を行っています。

皮膚科

皮膚科全般にわたり診療していますが、特に、アトピー性皮膚炎、接触性皮膚炎、光線過敏症などの治療及び日常生活での指導などを行っています。また、皮膚真菌症（俗称水虫）を中心とした足のケアや総合的なスキンケアの相談、化粧品の適不適の判定も行っています。お気軽にご相談下さい。

泌尿器科

腎癌、腎盂尿管腫瘍、膀胱癌、前立腺癌、前立腺肥大症、膀胱炎、尿失禁等の泌尿器科全般の疾患の治療とともに、小児泌尿器科診療も行っています。特に、癌に対する非開腹による経尿道的手術や、小切開創による開腹手術も多数行っています。

眼　科

糖尿病網膜症、緑内障など眼科全般にわたり診療が可能です。午前中は一般外来、午後は手術及び予約制で視野検査、レーザー治療、斜視、弱視検査を行っています。
また、未熟児センターを有するため、未熟児網膜症の検査及び治療も行っています。

**産婦人科
産　科**

年間分娩数約 500 件、そのうち異常分娩は約 70% を占め、佐賀県内の周産期医療の中核としてハイリスク妊娠を積極的に受け入れています。
また、家族も泊まれるＬＤＲ室、患者さまが自信をもってお産ができるようにサポートするマザークラスなど快適な妊婦生活、分娩の実現に努めています。

婦人科

子宮筋腫に対する腹腔鏡下膣式子宮全摘術や子宮鏡下手術、卵巣腫瘍に対する腹腔鏡下手術などお腹を切らない低侵襲手術（により早期退院が可能です。）に力を入れています。

放射線科

当院では、一般のレントゲン撮影のほかに、ＣＴ・ＭＲＩ・超音波（エコー）・ＲＩ（核医学検査）・血管造影等の検査で病変の早期発見・診断に努めるとともに、内科、外科など各科と連携して CT 装置、超音波装置を利用した組織の採取（生検）治療（ＩＶＲ）の先駆的診療を行っています。また、近在の開業医の先生方への協力体制で、各種検査を外来で行い地域医療に対し貢献しています。腹部ＣＴ、超音波検査は絶食して当日可能です。ＭＲＩ、ＲＩ、血管造影は予約が必要です。

リハビリテーション科

リハビリテーション科　入院患者さんを中心として、様々な障害に対し、運動療法、治療体操、温熱療法、牽引療法等を行い、一日も早く社会復帰できるようにお手伝いをしています。また、退院後の日常生活をも視野に入れた社会・家族との密接な連携、幅広い対応を目指しています。

**その他の
診療科**

脳神経外科・・・・週一回水曜日に外来診療を行っています。
耳鼻咽喉科・・・・週二回火・木曜日に外来診療を行っています。

以上の一般外来の他に次の様な特殊専門外来を行っています。

平成 18 年６月２日現在

特殊専門外来

診療科＼曜日		月	火	水	木	金	備考
肝臓専門外来		○	○	○	○	○	受付 8：30 ～ 11：30
内科消化器疾患		○	○	○	○	○	受付 8：30 ～ 11：30
内分泌・糖尿病				○	○	○	受付 8：30 ～ 11：30
呼吸器内科		○					受付 8：30 ～ 11：30
神経内科				第４のみ			受付 8：30 ～ 11：30　第４水曜日のみ
小児科（検診・特殊外来）	乳児検診		○				予約制
	未熟児検診			○			予約制
	就学前検診		○				予約制
	心臓血管	○				○	予約制
	慢性疾患				○		予約制
	アレルギー			○			予約制
	小児神経		第1・第3のみ				予約制
	予防接種				○		予約制
乳腺外科		○	○	○	○	○	受付 8：30 ～ 11：30

第1回 地域連携パス合同カンファランス

整形外科医長　原　　真一郎

平成18年4月25日に、第1回地域医療連携合同カンファランスを開催させていただきました。昨今では益々地域連携の重要性が深まってまいりましたが、今年の4月から地域連携診療計画管理料も新設され、今後は厚生労働大臣が定める疾患の幅も広げられるのではと推測しているところです。当院では残念ながら平均在院日数の関係で、この施設基準は取得できませんが、それでも地域連携の向上のためには十分に取り組むべき価値があるものと考えております。

当日はお忙しい中、多数の先生方にお集まりいただき誠にありがとうございました。紙面をお借りして御礼申し上げますとともに、今後ともよろしくご指導のほどお願い申しあげます。

地域連携診療計画書（医療者用）　当院のホームページ http://www.hosp.go.jp/~saga/ でもご紹介しております。

医療者用　地域連携診療計画書（大腿骨頸部骨折）　患者氏名　　様
病名　右□　左□　大腿骨骨折（頸部□　転子部□　転子下□）
手術日　平成　　年　　月　　日

適応基準	大腿骨頸部骨折（頸部、転子部、転子下）で手術を行い連携パスを共有する	転院基準と時期の目安
	医療機関と連携して治療を継続する場合	退院基準と時期の目安

		手術実施病院			転院先医療機関		在宅または施設
		手術後週末まで	術後翌週	退院まで	入院日	退院まで	退院まで
	患者状態	循環動態が安定している 呼吸状態が安定している 創痛が管理できている 創ｺﾞ問題がない（持続出血がない） 感染徴候がない	循環動態が安定している 創痛が自制内（鎮痛剤を必要としない） 感染徴候がない（発熱や創の異常がない）	創痛が自制内 創に問題がない	創痛が自制内 創部に問題がない 感染徴候がない	感染徴候がない	骨折部の疼痛がほとんどない 創部に問題がない
	生活動作	座位をとることができる（ベッド端座位） 車いすに乗車できる（介助） 転倒・転落がない	車いすに乗車できる（自立または介助） 歩行器歩行ができる（受傷前に歩行の場合） 転倒・転落がないベッドや車いすからの転落、立位、歩行時の転倒がない）		受傷前の歩行状態に近くなる （適宜、杖を使用するなどして） 転倒・転落がない		受傷前の歩行状態への復帰 転倒・転落がない
	知識・理解	患部の安静について知っている 脱臼防止の理解（人工骨頭の場合）	脱臼防止の理解（人工骨頭の場合） 転院の必要性の理解（本人・家族）	脱臼防止の理解（人工骨頭の場合 転院の必要性の理解（本人・家族）	脱臼防止の理解（人工骨頭の場合	脱臼防止の理解 退院後の生活の理解	かかりつけ医への受診の必要性 の理解（定期健診・異常時）
	合併症	・腓骨神経麻痺がない （足し、足関節の背屈ができ、しびれがない ・褥瘡がない （仙骨部、背部部、大転子部に発赤や潰瘍がない	深部動脈血栓症がない （非骨部の腫脹や疼痛がない） ・術後創感染がない 手術創周囲の発赤・熱感・腫脹がない	・肺梗塞症がない （息苦しさがない） ・脱臼がない （人工骨頭の場合）	腓骨神経麻痺がない 肺梗塞症がない 術後創感染がない	深部動脈血栓症がない 褥瘡がない 脱臼がない（人工骨頭の場合）	晩期創感染がない 脱臼がない（人工骨頭の場合）
	治療・処置	翌朝まで持続点滴 酸素投与 外転枕使用（人工骨頭のみ） 弾性ストッキング装着 創処置（ドレーン抜去、ガーゼ貼付） 尿道留置カテーテル抜去	創処置（抜糸・抜鉤） 弾性ストッキング装着	弾性ストッキング装着			必要に応じてかかりつけ医を受診 または訪問看護
	検査	採血（血算）	採血（血算、CRP、Dダイマー） レントゲン撮影（股関節）	レントゲン撮影（股関節・術翌）	評価のための検査 （X-P、採血、検尿など）	X－P撮影（股関節、1～2週毎） 採血	
	薬剤	抗生剤点滴（感染予防、翌日まで） 指示あれば鎮痛剤の内服 薬剤管理（常用内服薬の再開など）	常用薬内服（あれば）	常用薬内服（あれば）	常用薬確認	常用薬内服（あれば）	常用薬内服（あれば）
	生活動作	端座位・車いす（術後3日より） 患肢への荷重はフリー 筋力増強訓練	車いす移動可 病棟内歩行器歩行の介助 起立訓練（リハビリ室） 歩行訓練（リハビリ室）	車いす移動可 歩行訓練（リハビリ室） 歩行可（　病棟内歩行器歩行）	状態の評価		必要に応じて訪問リハビリ 必要に応じて通院リハビリ （かかりつけ医）
	清潔	全身清拭	全身清拭 シャワー浴（可能なら）	全身清拭 シャワー浴（可能なら）	全身清拭 シャワー浴（可能なら）		可能な限り入浴
	排泄	排尿・排便は介助	尿便器での排泄（ベッド上） トイレでの排泄	尿便器での排泄（ベッド上） トイレでの排泄	尿便器での排泄（ベッド上） トイレでの排泄		移動能力にあった排泄 （ベッド上、ポータブルトイレ、トイレ）
	食事	食事摂取 合併症などで必要あれば治療食）	食事摂取 合併症などで必要あれば治療食）	食事摂取 合併症などで必要あれば治療食）	食事摂取（病状やリハビリ状況に見合った）		食事摂取（病状やリハビリ状況に 見合った）
	説明 指導 調整	術後説明（医師に転院時期についても） 足関節運動の指導 トイレ使用法の指導（車いす） 脱臼防止の指導（人工骨頭のみ）	退院・転院調整 保清指導（シャワー浴） 脱臼防止の指導（人工骨頭のみ）	退院・転院調整 転院についての医師の説明 転院時必要書類 連携パス（患者用） 診療情報提供書 医師サマリーの写し 他科受診結果の写し 看護サマリー 退院証明書	入院時の説明 （リハビリや治療期間など）	退院時の説明 （通院や介護保険関連など） 退院時必要書類 退院後診療計画（患者渡し） 退院時診療情報提供書 その他	
	退院時情報	【退院時患者状態】 リハビリは ＊gait歩行 □車椅子 □歩行器□シルバーカー□一本杖□独歩 ○自立○監視○要介助○困難 ＊階段昇降□可　□不可 平成　　年　　月　　日　独立行政法人国立病院機構佐賀病院　整形外科主治医	その他特記事項 禁忌事項：無・有（　　） 問題行動：無・有（　　） 認知症：無・疑い・有 訓練意欲：無・有 痛み：無・有	介護保険の有・無 自宅（独居・同居　人暮らし） ベッド・布団 トイレ（和式／洋式） 施設・病院 キーパーソン（　　）	【退院時患者状態】 歩行状態 □車いす移動 □歩行器歩行 □杖歩行 平成　　年　　月　　日　医療機関名	その他特記事項	

国立病院機構佐賀病院
ケースカンファランスのご案内

当院では平成 18 年２月より、主にご紹介いただいた症例を中心としたケースカンファランスを、毎月第４月曜日に実施しています。（８月と１２月を除きます）

このカンファランスは参加費無料で、日本医師会生涯教育制度の講座に認定されており、医師会員の受講者は３単位を取得することができます。また会員外の方でも希望者には３単位の参加証明シールを発行しています。

ご紹介をいただきました多くの先生方に受講していただけますよう、ますます充実していきたいと思っておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

各診療科の担当月

小 児 科：２月、７月
内　　科：３月、９月
外　　科：４月、10 月
整形外科：５月、11 月
産婦人科：１月、６月

過去の開催状況

■ **平成 18 年２月 27 日（月）**

19 時～ 20 時　　小児科担当

～時間外で遭遇する小児の腹痛－便秘・嘔吐
下痢症から「へえー」と言われた症例まで～

■ **平成 18 年３月 27 日（月）**

19 時～ 20 時　　内科担当

「内科への紹介患者さんについての症例検討」

■ **平成 18 年４月 24 日（月）**

19 時～ 20 時　　外科担当

乳がん　最近経験した温存症例について
「－温存の適応、手術の工夫および
当院の成績－」

■ **平成 18 年５月 22 日（月）**

19 時～ 20 時　　整形外科担当

「骨折治療の変化」

次回の６月 26 日（月）は産婦人科担当で、演題は「産科超音波診断－実技を通して」

実際に妊婦さんに協力していただき、超音波診断の実技を行います。

講師は、第三診療部長の“野見山　亮”先生です。

診療科目の枠を超えて、多数の受講をお待ちいたしております。

地域医療連携室

各新任医師のご紹介

①診療科　②出身大学（卒年）　③専門領域

第三診療部長
野見山　亮
のみやま　まこと
①産婦人科
②長崎大学医学部（S57）
③産婦人科一般

形成外科医長
吉本　浩
よしもと　ひろし
①形成外科
②長崎大学医学部（H4）
③形成一般

外科医長
円城寺　昭人
えんじょうじ　あきひと
①外科
②長崎大学医学部（S60）
③消化器外科

外科医長
朝川　孝幸
あさかわ　たかゆき
①外科
②東邦大学医学部（S63）
③消化器外科

内科医師
後藤　貴史
ごとう　たかし
①内科
②鹿児島大学医学部（H8）
③内科一般

産婦人科医師
山本　徒子
やまもと　ともこ
①産婦人科
②佐賀大学医学部（H15）
③産婦人科一般

産婦人科医師
徳田　諭道
とくだ　つぐみち
①産婦人科
②香川医科大学（H9）
③産婦人科一般

小児科医師
人見　知洋
ひとみ　ともひろ
①小児科
②佐賀医科大学医学部（H4）
③アレルギー・免疫

小児科医師
人見　会美子
ひとみ　えみこ
①小児科
②佐賀大学医学部（H11）
③小児科一般

小児科医師
岩永　学
いわなが　まなぶ
①小児科
②佐賀大学医学部（H14）
③新生児

整形外科医師
岩永　斉
いわなが　ひとし
①整形外科
②長崎大学医学部（H5）
③外傷・上肢

整形外科医師
諸岡　聡
もろおか　そう
①整形外科
②久留米大学医学部（H14）
③整形外科一般

内科医師
猪狩　成彦
いかり　なるひこ
①内科
②久留米大学医学部（H15）
③内科一般

内科医師
山口　東平
やまぐち　とうへい
①内科
②福岡大学医学部（H15）
③内科一般

佐賀病院健康フェア

あなたの健康チェックしてみませんか

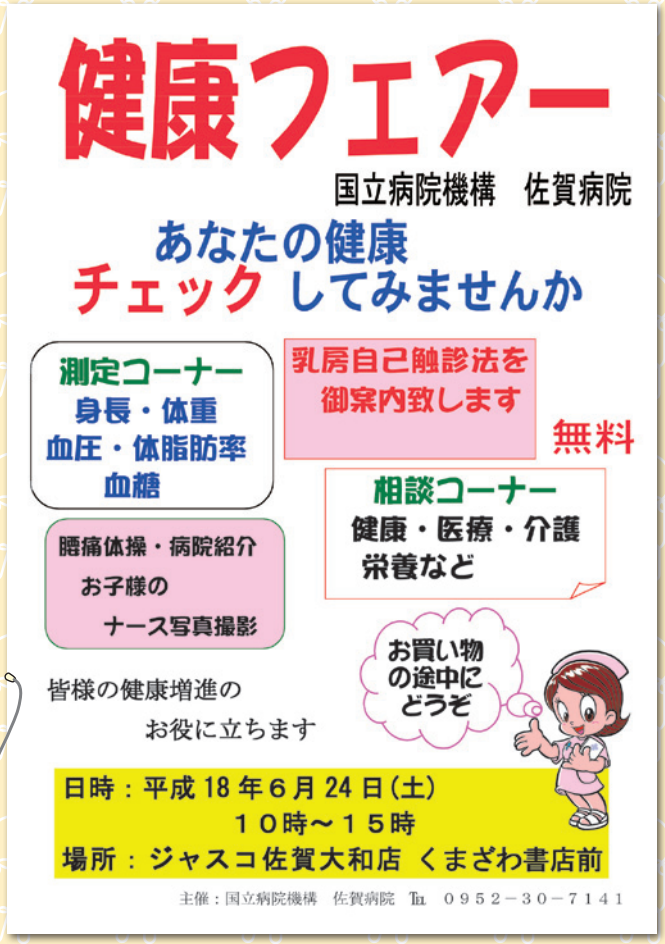
今年も昨年に引き続き佐賀病院健康フェアを開催します。開催場所は、ジャスコ佐賀大和店内くまざわ書店前をお借りして実施いたします。

開催日時　平成 18 年６月 24 日土曜日　　10 時～ 15 時

催し物の内容は各ブースにより

1. 医師・薬剤師・看護師による健康相談
2. 管理栄養士による栄養相談
3. 理学療法士やソーシャルワーカーによる介護・福祉相談
4. 身長・体重・血圧・体脂肪率・血糖などの測定コーナー
5. ミニチュアの白衣を貸し出して、お子様ナース写真コーナー
6. 病院の紹介コーナー

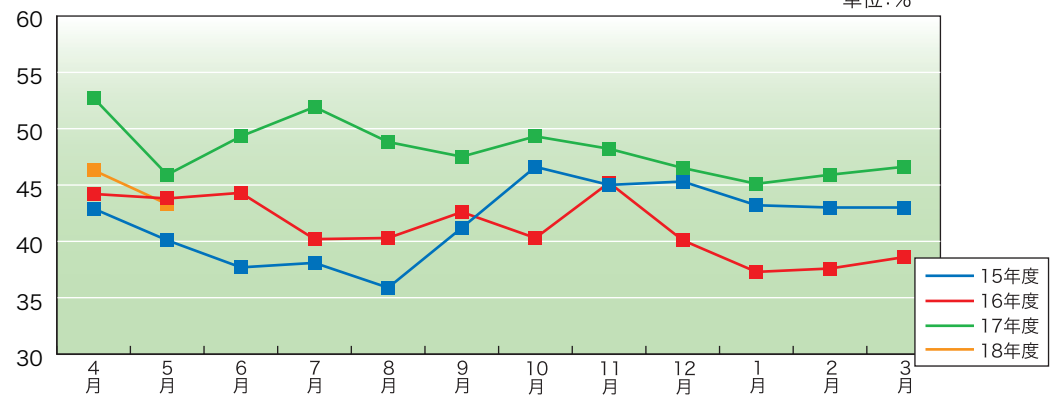
などを計画しています。もちろん無料ですので、お買い物のついでに、ちょっと寄って健康チェックしてみませんか。



地域医療連携指数のご報告

年度別紹介率推移

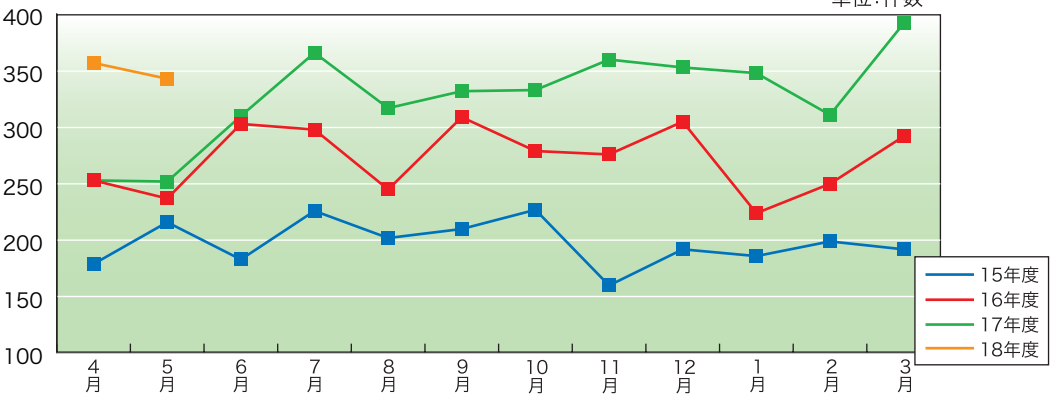
単位:%



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
15年度	42.9	40.1	37.7	38.1	35.9	41.2	46.6	45.0	45.3	43.2	43.0	43.0	41.7
16年度	44.2	43.8	44.3	40.2	40.3	42.6	40.3	45.2	40.1	37.3	37.6	38.6	41.1
17年度	52.7	45.9	49.3	51.9	48.8	47.5	49.3	48.2	46.5	45.1	45.9	46.6	48.0
18年度	46.3	43.3											

逆紹介件数

単位:件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
15年度	178	215	182	225	201	209	226	159	191	185	198	191	2,360
16年度	252	236	302	297	244	308	278	275	304	223	249	291	3,259
17年度	252	251	309	365	316	331	332	359	352	347	310	391	3,915
18年度	356	342											

【交通のご案内図】

1．JR「佐賀駅」下車徒歩20分

2．バス（市営、昭和）
「市文化会館前」下車

3．高速バス（唐津・伊万里線）
「総合体育館前」下車徒歩３分